

車両火災の原因は？

エンジンルームに置き忘れた可燃物の発火が原因になることがあります。

走行前にエンジンルーム内をチェックしましょう

- 1** ウェスやタオル、軍手など置き忘れていませんか。

エンジンの熱で布が発火して車両火災が起こる場合があります。特に油のしみ込んだ布は、熱で発火しやすいのでご注意ください。



- 2** 小動物や鳥が持ち込んだ枝や枯れ草はありませんか。



クルマを長期間使用しなかった場合は特に入念にチェックしましょう！



走行中に焦げた匂いがしたら停止しましょう

- 3** 速やかに安全な場所に停止しましょう。停車後発火する危険がありますので、エンジンを切ってクルマから離れてください。



走行中は何事もなくとも、停車後に火災が発生する事故も起きています。

安全確認後、エンジンルームをチェックしましょう！

放置しないで！

※また、車内においてもライターやスプレー缶が放置されていないか、灰皿が吸い殻でいっぱいになっていないか、確認しましょう。
※クルマの定期点検を忘れずに。異常を感じた時は点検整備を受けましょう。



安全運転で楽しいドライブ！！

クルマの正しく安全な使い方については <http://www.anzen-unten.com>

JAMA

一般社団法人 日本自動車工業会
JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATION, INC.